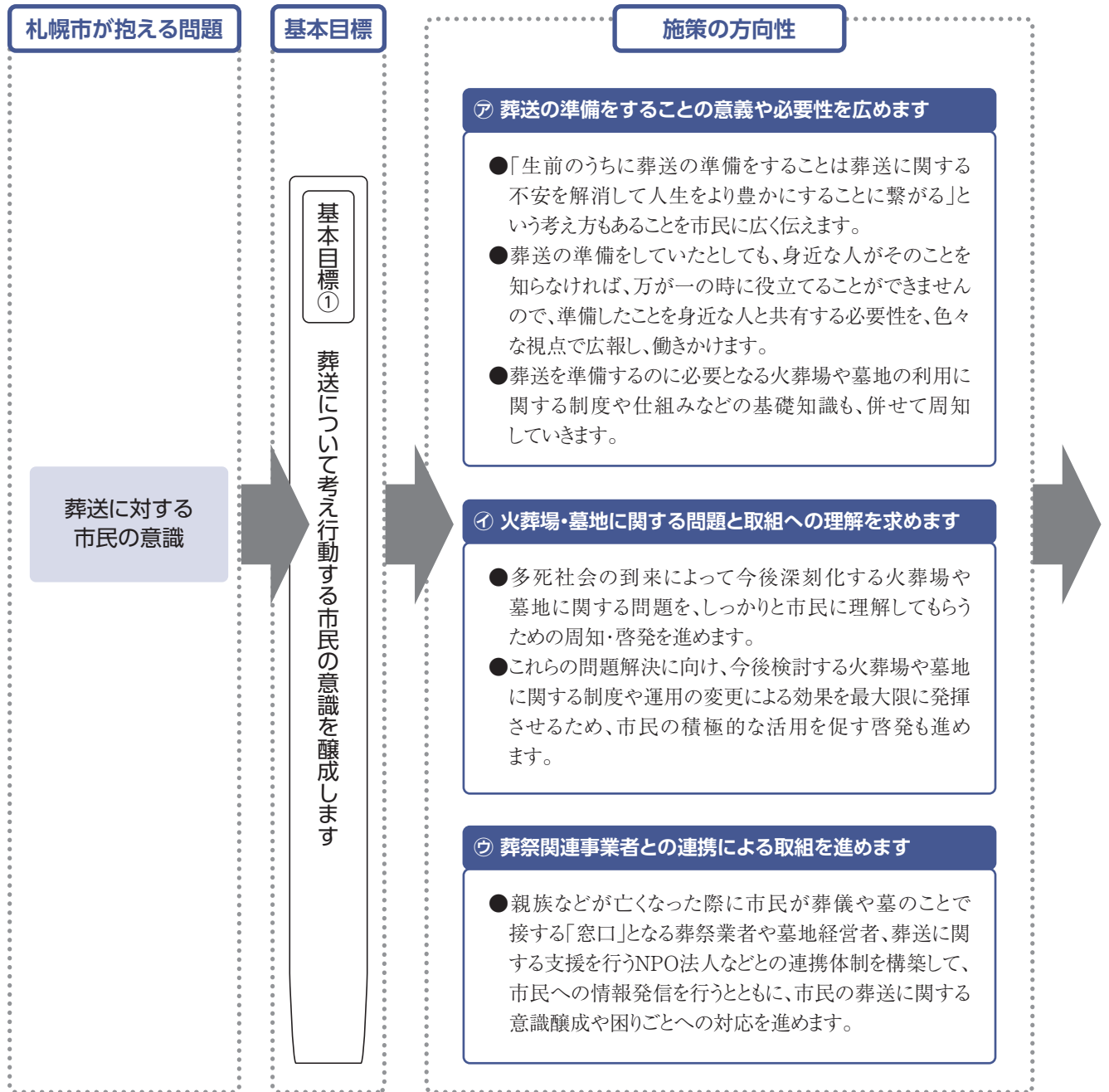


# 第4章 分野別の取組

## 1 市民の意識醸成

### (1)ビジョン実現に向けた施策などの全体像



### 問題点を踏まえた今後の考え方

#### 葬送に対する意識

- 札幌市の関係部署に加え、民間墓地経営者や葬祭関連事業者等と連携して、市民への情報提供に努めていきます。
- 今まで葬送に関心が薄かった層を対象として、それぞれに関心を持ってもらえる企画を行います。

#### 火葬場・墓地に関する問題と取組に対する理解

- 火葬場・墓地の課題解決に向けて、札幌市の取組を市民へ周知・啓発するとともに、市民と札幌市の間で対話の機会を持ちながら進めていきます。

### 問題の解決手法の検討

#### 葬送に対する市民ニーズの把握

- アンケート調査を中心に、市民の葬送に対する意識やニーズについて、最新の動向を把握します。

#### 葬送に関する情報発信・提供

- 札幌市の関係部署に加え、民間墓地経営者や葬祭関連事業者等と連携し、市民が求める情報にたどり着ける体制を整備します。
- 広報さっぽろやホームページ等の各種媒体を活用して葬送に関する情報を発信します。
- 出前講座やワークショップ、サロン等のイベントを実施し、対話を通じた情報提供を行います。



## (2)各種取組

### ア 葬送に対する市民ニーズの把握

アンケート調査を中心に、市民の葬送に対する意識やニーズについて、最新の動向を継続的に把握します。

#### ■アンケート調査の実施

葬送に関するワークショップやサロンなどの各種イベント開催時に、参加者アンケートを行うほか、定期的にインターネットアンケート調査を実施し、市民が、自分や家族・親族が亡くなった時のことをどのように考えているか、そのために行動したり準備しているか、その際に知りたいことは何か、また実際に葬送を経験して困ったことはあったかなど、市民の葬送に対する意識や需要を把握します。

#### ■市民ニーズの多様化

これまでに実施したワークショップにおいて、対話を通じて市民の生の声を収集したところ、年齢、性別、家族構成など属性ごとにニーズが多様化している可能性があることが分かりました。今後も市民ニーズを定量的に調査・分析し、火葬場・墓地に関する施策に活用します。

### イ 葬送に関する情報発信・提供

札幌市の関係部署に加え、民間墓地経営者や葬祭関連事業者等と連携し、市民が求める情報にたどり着ける体制を整備します。

広報さっぽろやホームページ等の各種媒体を活用して葬送に関する情報を発信します。また、出前講座やワークショップ、サロン等のイベントを実施し、対話を通じた情報提供を行います。

#### ■終活ネットワーク

葬送については、家ごとにしきたりや価値観があり、他でどのように葬送が行われているかを知る機会は多くないため、不安に感じている市民もいます。また、終活をしたいと考え、積極的に情報を集めている市民もいます。

札幌市では、市民が必要とする情報にたどり着けるように、令和6年度に庁内関係部局が幅広く参加する「終活ネットワーク」を構築しました。

今後は、庁内の参加部署を拡充し、より多くの部門が協力して終活支援を行う体制を整えるとともに、業界団体などの民間組織との連携を進めながら、市民に情報を提供する体制を充実させていきます。

## ■ターゲットを絞った企画・情報発信

従来の終活セミナーや終活ワークショップは、葬儀やお墓の問題を身近に感じている高齢者にとっては非常に好評でしたが、一方で、そのようなテーマはまだ早い、時期が来たら考える、というような若い世代の参加は多くありませんでした。さらに、近年は「終活」ではなく「生き活」や「デス活」のような表現が使われるなど、「終活」のイメージも多様化してきています。そのため、時代の変化を捉えながら比較的若い世代が関心を持つような企画について検討し、実施していきます。

また、比較的若い世代以外も対象とする企画については、家族構成、性別・年齢、職業など様々な方がいるため、「男性」やいわゆる「おひとりさま」など、ターゲットを絞って開催することで、従来よりも参加者のニーズに合った情報を提供し、より多くの方に葬送への関心を持ってもらうことを目指します。

そして、比較的若い世代はホームページやSNS等の広報媒体に接する機会が多い一方で、高齢者は新聞や広報さっぽろ等から情報を得ることが多い状況にありましたが、今後はデジタル化の進展を見据えながら適切な広報媒体を選択・活用し、効果的な情報発信を行います。

## ■火葬場・墓地に関する周知・啓発・対話

火葬場・墓地に関する課題を解決していくためには、市民にも火葬場・墓地を身近に感じるとともに、その課題をしっかりと理解してもらい、協力してもらうことが必要です。そのため、引取者のない遺骨の増加等の今後の社会状況の変化によって起こる問題や、火葬場の建替や改修、市営霊園・合葬墓の整備、無縁墓の増加など、火葬場や墓地等の抱える問題やあり方・制度等について周知していきます。

### (3) 成果指標の設定及び参考指標

#### 成果指標<sup>10</sup>

葬送に関する行動をしている 20代及び30代の割合	
現状(2025年度)	目標値(2030年度)
44.8%	60.0%

#### 〈将来的な効果〉

比較的若い世代を含む多くの市民が葬送に関する行動をすることで、個々人が抱えている葬送に関する不安を取り除き、また孤独死や無縁墓などの社会課題の解決に繋がる。

葬送に関する行動をしている市民の割合	
現状(2025年度)	目標値(2030年度)
54.5%	65.0%

#### 参考指標<sup>11</sup>

20代及び30代のイベント参加者数	
現状(2024年度)	目標値(2030年度)
1人	30人

#### 【参考指標達成による寄与】

比較的若い世代や男性のイベント参加者を増やすことで、葬送について話し合い、自分事として考え、行動する人の増加に繋がる。

終活イベント参加者の男性の割合	
現状(2024年度)	目標値(2030年度)
23.8%	33%

#### スケジュール



凡例: 実践

10 【成果指標】基本構想に掲げる基本目標の実現に向けて、具体的な取組を実践し、その進捗状況を把握するための目標として成果指標を設定します。

11 【参考指標】運営計画対象期間において、成果指標を補足し、それぞれの取組状況を確認するため、参考指標を設定します。

## 【コラム 第1次計画で実施した終活に関する取組事例】

## ■終活ガイドブックの作成

- 市民が終活を進める際の参考にしていただくため、令和7年度（2025年度）の取組として、終活に関するポイントや相談先などをまとめた「終活ガイドブック」を作成しました。

[https://www.city.sapporo.jp/kenko/wellness/bochi\\_kasou/uneikeikaku/documents/shukatsu\\_guidebook.pdf](https://www.city.sapporo.jp/kenko/wellness/bochi_kasou/uneikeikaku/documents/shukatsu_guidebook.pdf)



## ■終活に関連する情報のページ

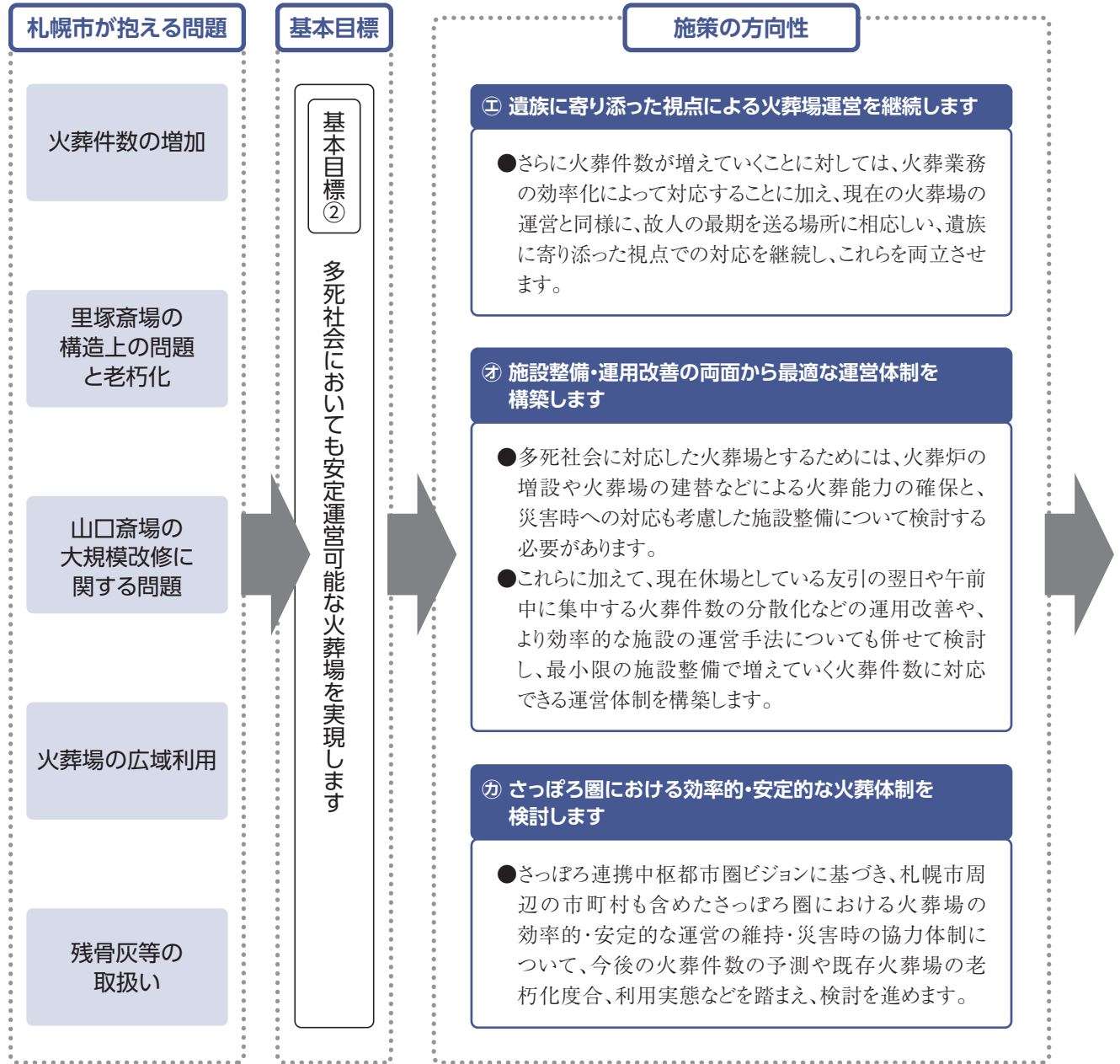
- 市民が終活を進める際の参考にしていただくため、終活セミナーやワークショップなど参加型のイベントのほか、市役所及び各区役所で実施している終活に関連する業務の情報を掲載しています。

[https://www.city.sapporo.jp/kenko/wellness/bochi\\_kasou/uneikeikaku/syuukatsu.html](https://www.city.sapporo.jp/kenko/wellness/bochi_kasou/uneikeikaku/syuukatsu.html)



## 2 多死社会に対応した火葬場

### (1)ビジョン実現に向けた施策などの全体像



## 問題点を踏まえた今後の考え方

### 火葬件数の増加

- 1施設のみでは火葬需要への対応が困難であることから、2つの火葬場を継続して稼働させる必要があります。
- 火葬場整備にあたっては、多くの時間と費用を要することから、火葬件数の需要予測を踏まえて最適な計画とする必要があります。

### 里塚斎場の構造上の問題と経年化

- 建物物や設備の供用年数や、施設の構造上の問題点を踏まえ、里塚斎場の再整備計画を策定します。
- 策定にあたっては、PFI事業を検討するなど財政支出の削減を目指すとともに、余裕を持った工期を設定します。

### 山口斎場の大規模改修に関する問題

- 令和17年度以降の大規模改修の実施方法について検討します。
- 大規模改修後の運営手法について検討します。

### 火葬場の広域利用について

- 近隣の市町村と引き続き情報共有及び協力・連携を行います。
- 火葬場の広域利用に関する各自治体の意向について、会議等を通じて確認し、どのような対応が可能か検討します。

### 残骨灰等の取扱について

- 保管されている残骨灰について、計画的に無害化処理を進めていきます。
- 無害化処理の過程で生じる有価金属の引取により得られる収入については、引き続き火葬場の整備・運営に活用していきます。

## 問題の解決手法の検討

### 里塚斎場の建替・改修手法

- 建替時期や建替場所、火葬炉数や特別控室等の付帯設備など火葬場の規模を選定します。
- 事業方式の検討、建替費用の精査を行い、整備計画を策定します。

### 山口斎場の大規模改修手法

- 費用、工期、市民の利便性を踏まえた実現可能性を考慮しながら、山口斎場の大規模改修手法について検討を行い、決定します。
- 大規模改修とその後の運営手法について、PFI事業による実施を検討し、決定します。

### 火葬場の広域利用についての協議

- 火葬場の広域利用について、引き続き、近隣11市町村等との協議を進めていきます。

### 残骨灰等の無害化処理

- 残骨灰及び集塵灰の無害化処理について、計画的に処理を進めていきます。
- 無害化処理の過程で生じる有価金属の引取により得られる収入を火葬場の整備・運用に活用します。
- 有害物質の生じる原因の一部となる副葬品の制限について、周知・啓発を行います。

## (2) 各種取組

### ア 里塚斎場の建替・改修手法

経年化が進む里塚斎場の整備について、建替時期や建替場所、火葬炉数や特別控室等の付帯設備など火葬場の規模を選定します。また、事業方式の検討、建替費用の精査を行い、整備計画を策定します。

#### ■里塚斎場の再整備

令和2年度(2020年度)に、里塚斎場の3つの整備手法について比較検討を行いました。その後、火葬場予約システムの導入や友引開場の検討など、状況が大きく変わってきたことから、令和5年度(2023年度)に、必要となる火葬炉数を見直しました。この際、火葬場の広域利用の観点から、他市町村の火葬をこれまで以上に受け入れた場合についても検討を行っています。その上で、改めて「①敷地外隣接地への建替」「②現地での建替」「③現火葬場の改修・増築」のそれぞれの手法の比較検討を行いました。

主に「諸室構成」「建設候補地の状況」「事業の競争性」「概算費用」の4点で比較を行ったところ、最適な整備手法は「敷地外隣接地への建替」という結果となりました。

今後、地域住民の理解を得ながら、事業方式の検討や建替費用の精査などを含めた詳細な検討を行い、整備計画を策定します。

#### ■構造上の不具合の解消

再整備にあたっては、火葬件数が増えた場合にも待合ロビーの混雑や収骨待ち、会葬者の動線の交錯といった問題が生じないような構造とします。

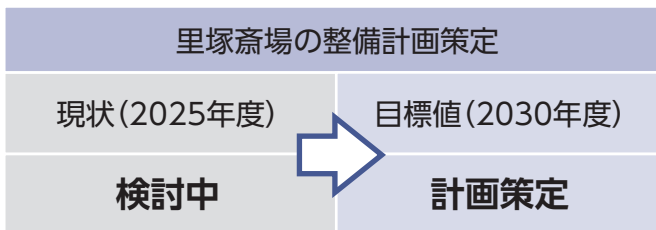
#### ■事業方式

現在の里塚斎場は札幌市が直営で運営を行っていますが、山口斎場では、施設の建設・運営・維持管理をPFI事業として一括で発注することにより、工期の短縮、水準の高い維持管理、財政支出の削減・平準化が実現していることから、令和5年度(2023年度)に上記のそれぞれの整備手法についてPFI事業として実施した場合の財政縮減効果(VFM)を算定したところ、いずれも6~7%の財政縮減効果が発揮されることが確認されました。そのため、里塚斎場の再整備については、PFI事業による実施も含めた検討を行い、事業方式を決定します。

【表4-2-1 里塚斎場の主要評価項目の比較検討】

評価項目	評価結果
諸室構成	敷地が広大であり、基本的には大きな弊害はないが、斎場というビルディングタイプを考慮すると、多階層にわたる「現地での建替」は機能上使い勝手が悪いと考えられる。
建設候補地の状況	各整備案の候補地はいずれも敷地条件が異なっており、崖地での整備となる場合は、造成に多大な費用がかかる。また、崖地での建設は埋め立て造成による災害リスク等があると考えられる。
事業の競争性	事業の競争性、複数グループの組成の可能性を考慮すると、新たに建設する「敷地外隣接地への建替」「現地での建替」は複数グループの組成が期待でき、公募の際に価格・性能面で競争原理が働きやすいと考えられるが、「現火葬場の改修・増築」は現斎場の改修・継続利用を伴うため、新たな炉メーカーの参入が困難であると考えられる。
概算費用	概算費用面での比較検討を行うにあたっては、イニシャルコストとランニングコストの両側面からの視点が必要であり、合計金額が最も安価であったのは「敷地外隣接地への建替」であった。

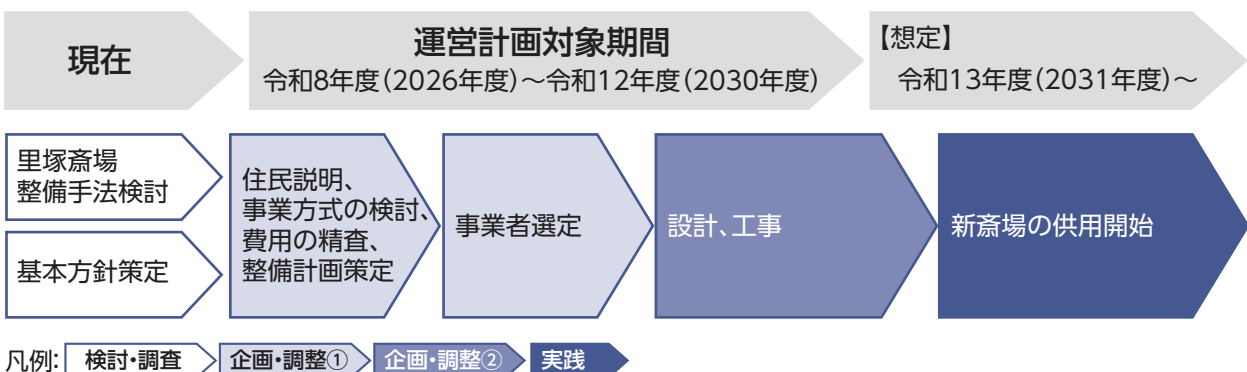
## 参考指標



## 【参考指標達成による寄与】

里塚斎場の今後の整備計画を策定することで、安定的な火葬体制の構築に繋がる。

## スケジュール



## イ 山口斎場の大規模改修手法

費用、工期、市民の利便性を踏まえた実現可能性を考慮しながら、山口斎場の大規模改修手法について検討を行い、決定します。

大規模改修とその後の運営手法について、PFI 事業による実施を検討し、決定します。

### ■大規模改修手法

山口斎場は第2期 PFI 事業の終了時期には供用開始から 30 年が経過することになり、機械設備や電気設備のほか、火葬炉についても更新を行う大規模改修が必要となります。

令和4年度(2022 年度)に行った「令和4年度山口斎場譲渡前検査等調査業務」では、このような大規模改修を行うにあたっては、最大2年間施設を休場して実施することが想定されていますが、火葬件数の増加により里塚斎場1斎場のみで対応を行うことは厳しい状況です。

そのため、令和 17 年度(2035 年度)頃に供用開始予定の新里塚斎場及び現里塚斎場を同時運用する期間を設けることや山口斎場の大規模改修を全面休場ではなく半面休場することなどの手法について、費用、工期、市民の利便性や里塚霊園内の混雑等を踏まえた実現可能性を考慮しながら総合的に検討を進め、決定します。

### ■大規模改修とその後の運営手法

第1期PFI事業では、施設の建設・運営・維持管理をPFI事業として一括で発注することにより、工期の短縮、水準の高い維持管理、財政支出の削減・平準化が実現しました。

また、札幌市PPP/PFI優先的検討指針では、公共施設等の整備事業において、整備に係る総事業費が10億円以上など、一定の条件に該当する場合は、PPP/PFI手法の導入を優先的に検討することとしています。

そのため、大規模改修とその後の運営の手法についても、PFI 事業による実施を検討し、決定します。

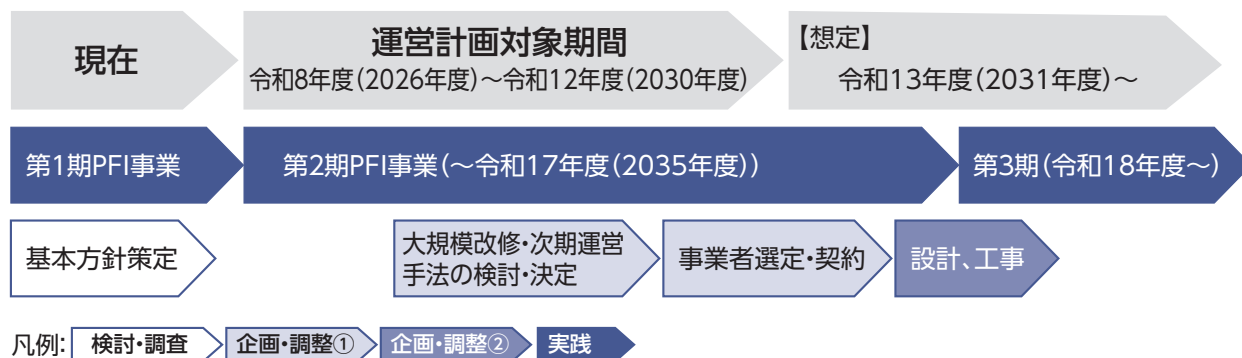
#### 参考指標

山口斎場の大規模改修手法の決定	
現状(2025年度)	目標値(2030年度)
—	決定

#### 【参考指標達成による寄与】

山口斎場の大規模改修手法を決定することで、安定的な火葬体制の構築に繋がる。

## スケジュール



## ウ 火葬場の広域利用についての協議

火葬場の広域利用について、引き続きさっぽろ連携中枢都市圏連携市町村との協議を進めていきます。

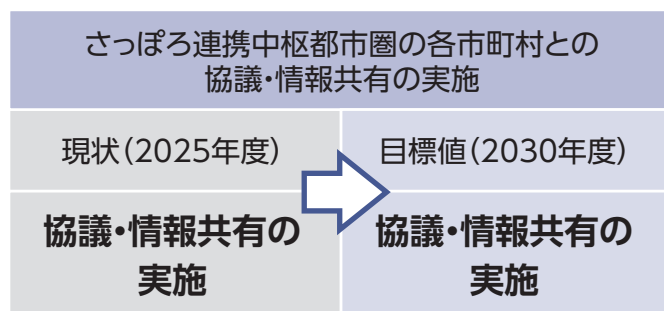
## ■各さっぽろ連携中枢都市圏連携市町村との協議

令和4年度(2022年度)から行っている「火葬場の広域利用に関する検討会議」は、今後も毎年開催します。その中で、各自治体の火葬場の大規模修繕や災害等非常時における協力体制について、引き続き協議をします。

## ■北広島市・石狩市との取組

北広島市、石狩市とは、2市の火葬場運営の方向性や今後の火葬需要について個別会議を開催するなどして情報共有を密にし、今後の札幌市の火葬場利用の方針決定に向け、検討を進めていきます。

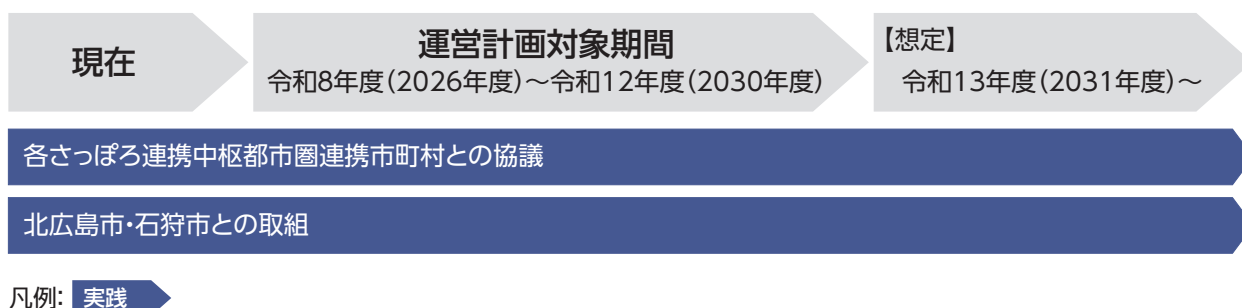
## 参考指標



## 【参考指標達成による寄与】

各市町村の火葬場の課題についての情報共有を継続して実施し、協力・連携を進める。

## スケジュール



## エ 残骨灰等の無害化处理

残骨灰及び集塵灰の無害化处理について、計画的に処理を進めていきます。

無害化处理の過程で生じる有価金属の引取により得られる収入を火葬場の整備・運用に活用します。

有害物質の生じる原因の一部となる副葬品の制限について、周知・啓発を行います。

### ■残骨灰等の発生量、処理量

残骨灰については、本市の火葬場では、1施設あたり年間約10t発生しています。今後は、これまでに保管されている残骨灰と合わせて、順次無害化处理を行います。

一方で、一度に大量の処理を行うと入札に参加可能な処理業者が限定される可能性もあることから、競争性・透明性を確保可能な範囲内で処理を進めていきます。

### ■有価物の引取により得られる収入の活用

金や銀など残骨灰の無害化处理の過程で得られる有価物の引取により得られる収入を火葬場の整備・運営に活用して、サービスの維持・向上を図ります。

また、収入やその活用方法について、札幌市公式ホームページ等で周知します。

### ■副葬品の制限についての周知・啓発

プラスチック製品や燃えにくいものなど、一部の副葬品は棺への収納が制限されています。このことについて、周知・啓発を行います。

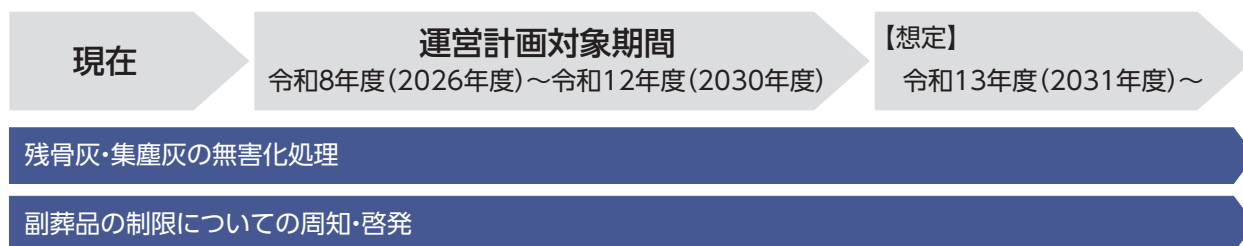
#### 参考指標

第2次計画期間中の残骨灰等の処理量	
現状(2025年度)	目標値(2030年度)
—	150t

#### 【参考指標達成による寄与】

残骨灰等を無害化处理することで、生活環境保全上の安全・安心が確保される。

#### スケジュール



凡例: 実践

### (3) 成果指標の設定及び参考指標

#### ■ 成果指標の設定

第2次計画においては、施設の更新等が主な取り組みとなります。そこで、基本構想で掲げる基本目標「多死社会においても安定運営可能な火葬場」の実現に向けて、目指す方向性を示す数値を指標とします。

#### 成果指標

令和6年度(2024年度)現在は友引の日が休場であるため、その前日や翌日の火葬件数が多くなっていました。友引を開場し、各種広報媒体等を活用して市民への周知を行い、市民の理解を得ながら、火葬件数の平準化を目指します。

日平均火葬件数に対する 友引翌日の平均火葬件数の割合	
現状(2024年度)	目標値(2030年度)
134.7%	117%

#### 〈将来的な効果〉

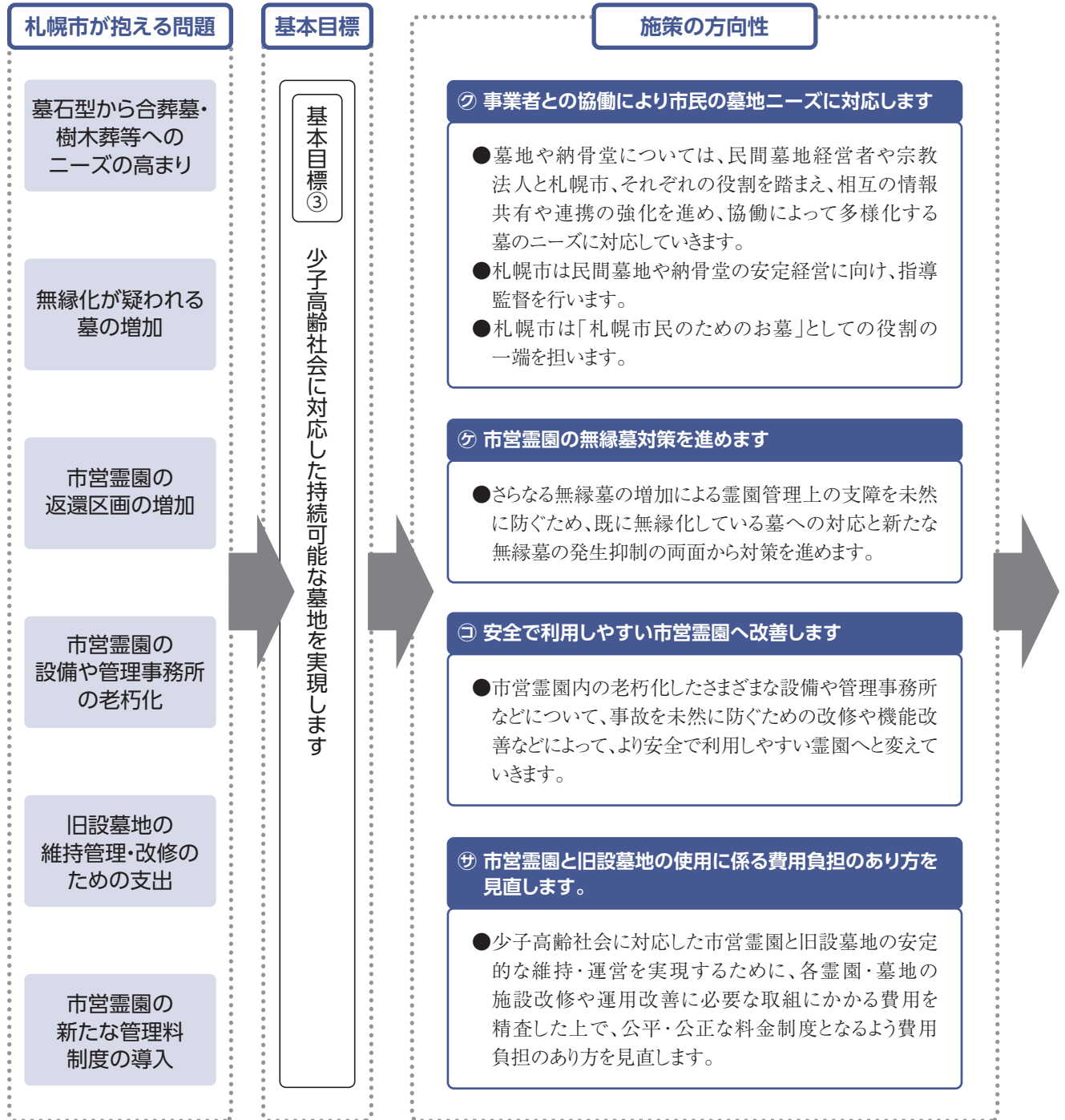
火葬件数が平準化されることにより、将来的に火葬場を建て替える時には、最小限の火葬炉数で設計することが可能となり、また、職員数についても混雑のピークに合わせて多く配置する必要がなくなり平準化されるなど、火葬場運営の効率化に繋がります。

#### 参考指標

項目	参考指標	参考指標達成による寄与
里塚斎場の建替・改修手法	里塚斎場の整備計画策定	里塚斎場の今後の整備計画を策定することで、安定的な火葬体制の構築に繋がる。
山口斎場の大規模改修手法	山口斎場の大規模改修手法の決定	山口斎場の大規模改修手法を決定することで、安定的な火葬体制の構築に繋がる。
火葬場の広域利用についての協議	さっぽろ連携中枢都市圏の各市町村との協議・情報共有の実施	各市町村の火葬場の課題についての情報共有を継続して実施し、協力・連携を進める。
残骨灰等の無害化処理	第2次計画期間中の残骨灰等の処理量	残骨灰等を無害化処理することで、生活環境保全上の安全・安心が確保される。

# 3 少子高齢社会に対応した墓地

## (1)ビジョン実現に向けた施策などの全体像



## 問題点を踏まえた今後の考え方

### 墓地・納骨堂の供給状況とニーズの変化

- 長期的な墓地需要や墓地等供給について調査し、民間墓地経営者と連携の下、市民ニーズを踏まえた墓地供給を推進します。
- 経営（変更）許可申請に対して、安定的かつ永続的な経営が可能かどうか、専門家の意見を聞きながら、厳格な審査を行います。
- 安定経営に不安がある事業者への指導を行い、問題が解決しない事業者に対しては、法律・条例に基づき厳正に対処します。
- 現在の合葬墓に対する埋蔵可能数を増加させるための措置や新たな合葬墓の設置などにより、継続して市民が合葬墓を利用できる体制を整備します。

### 無縁化が疑われる墓の増加

- 使用者の戸籍調査等を引き続き実施し、無縁化が疑われる墓を解消していきます。
- 毎年の管理料徴収の機会なども活用して、使用者に対し、住所変更、相続などの手続きを周知徹底するとともに、将来的に管理を引き継ぐ方がいないお墓に関して、墓じまいの啓発を進めることにより、無縁墓の発生を予防します。

### 市営霊園の経年化

- 市民がより安全で利用しやすい霊園となるよう、利用状況や経年化状況を踏まえ、計画的に改修を進めていきます。
- 市営霊園について、より効率的な維持管理・整備等を行っていくために、民間の活力を活かした運営方法や多面的な活用を検討します。

### 旧設墓地の維持管理

- 使用者が特定できていない未許可墓について、看板設置等により解消に努めます。
- 市営霊園の管理料導入後の状況も参考に、旧設墓地の維持管理方法のあり方について検討します。

## 問題の解決手法の検討

### 市民ニーズに対応した墓地等供給の推進

- 多様化する市民ニーズの把握に努めます。
- 墓地需要予測を実施します。
- 定期的な民間墓地経営者との打ち合わせ等による連携の下、市民ニーズを踏まえた適切な墓地供給を推進します。

### 民間墓地・納骨堂に対する指導等

- 納骨堂の安定的かつ永続的な運営を確保するため、経営（変更）許可申請に対して厳格な審査等を実施します。
- 経営許可済みの納骨堂に対して、経営状況報告内容や登記事項の定期的な確認など、経営状態のチェックを行い、安定経営に不安がある事業者への指導を行います。

### 新たな市営合葬墓の設置等

- 現在の合同納骨塚は、近い将来受入上限に達する見込みであることから、埋蔵可能数増加のための措置を行います。
- 市営霊園内へ新たな合葬墓を設置します。

### 市営霊園墓地供給（再公募等）のあり方

- 市民ニーズ等を考慮しながら、市営霊園としての墓地供給（再公募等）のあり方を検討します。

### 市営霊園及び旧設墓地の無縁墓への対応

- 使用者の戸籍調査を引き続き実施し、無縁墓の解消に努めます。
- 手続きに関する通知文の定期送付、注意喚起看板の設置、墓じまいの啓発などにより、無縁墓の発生を予防します。

### 市営霊園の運営・改修・機能の統廃合

- 里塚霊園管理事務所について、令和11年度の供用開始を目指して建替を行い、その他の管理事務所についても、利用状況や施設の経年化状況を踏まえた運営及び改修を検討します。
- 業務改善やサービスアップを目指すとともに、市民がより利用しやすい霊園となるよう、市営霊園の多面的な活用についても模索します。

### 旧設墓地の管理方法

- 安定的な運営を継続するとともに、使用者が特定できていない未許可墓の解消に努めます。

## (2) 各種取組

### ア 市民ニーズに対応した墓地等供給の推進

個別埋蔵式の墓石型から、合葬墓や樹木葬等の形態のお墓へニーズが変化しており、札幌市営霊園においても区画を返還する方が急増しています。また、平岸霊園合同納骨塚は第1次計画策定時の予測を大きく上回る収蔵数となっています。民間霊園においては、あらかじめ墓石の撤去や合葬墓への改葬を組み入れた期限付墓地や樹木葬墓地などを設けるところも出てきています。これらの現状に鑑み、多様化する市民ニーズの把握に努めるとともに、墓地需要予測を実施し、毎年度定期的な民間墓地経営者との打ち合わせ等による連携の下、市民ニーズを踏まえた適切な墓地供給を推進します。

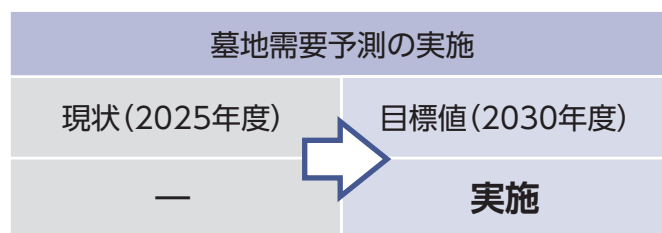
#### ■市民ニーズの把握

市民へのアンケート調査や葬送に関するワークショップ・サロン等の各種イベント参加者への聞き取りなどを通じて墓地・納骨堂の需要に係るニーズを把握します。

#### ■墓地需要予測

直近では平成29年度に墓地需要予測を行っていますが、高齢化、核家族化のより一層の進展などに伴う上記市民ニーズの変化等により、大きく乖離が生じている可能性があるため、第2次計画では改めて長期的な札幌市全体の墓地需要及び民間霊園等の供給について調査を実施します。

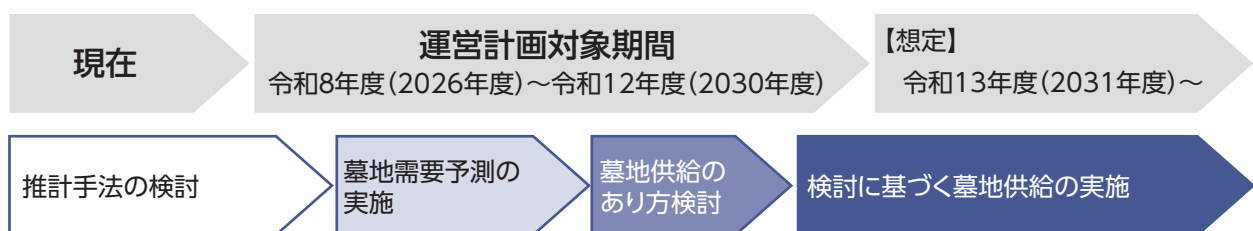
#### 参考指標



#### 【参考指標達成による寄与】

墓地需要予測の実施により、需要に合わせた墓地供給のあり方の検討が可能になる。

#### スケジュール



凡例: 検討・調査 → 企画・調整① → 企画・調整② → 実践

## イ 民間墓地・納骨堂に対する指導等

納骨堂の安定的かつ永続的な運営を確保するため、経営(変更)許可申請に対して厳格な審査等を実施します。また、経営許可済みの納骨堂に対して、経営状況報告内容や登記事項の定期的な確認など、経営状態のチェックを行い、安定経営に不安がある事業者への指導を行います。

### ■民間墓地と納骨堂の安定経営に向けた指導

札幌市では、「札幌市墓地等の経営の許可等に関する条例」に基づき、附属機関として、札幌市墓地等財務状況審議会(以下、審議会という。)を設置しています。この審議会を活用して、経営(変更)許可申請があった場合には、厳格な審査を行い、許可後は一定期間、事業が計画通りに行われているか確認を行います。また、公益法人が経営する墓地や、一定規模以上の納骨堂の財務状況を調査審議し、安定経営に不安がある事業者に対し、改善に向けた指導を行います。

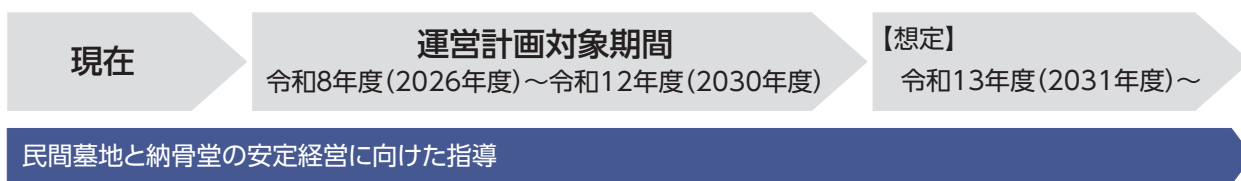
#### 参考指標

必要な経営状況報告を行っている 民間墓地・納骨堂の割合	
現状(2023年度)	目標値(2030年度)
66%	100%

#### 【参考指標達成による寄与】

民間墓地・納骨堂が必要な経営状況報告を行うことで、適切な指導等を行うことが可能となり、市民が安心して利用できる民間墓地・納骨堂の維持に繋がる。

#### スケジュール



凡例: 実践

## ウ 新たな市営合葬墓の設置等

現在の合同納骨塚は、近い将来受入上限に達する見込みであることから、埋蔵可能数増加のための措置を行います。また、抜本的な対応として新たな合葬墓を設置します。

また、遺骨を引き取る親族がいない方等のための墓という札幌市の合葬墓が担うべき「札幌市民のためのお墓」としての役割を継続しつつも、多様化するニーズにも対応できるよう、利用条件の見直しを行うとともに、安定経営に向けた料金体系についても検討し、新制度の運用を開始します。

### ■新たな合葬墓の設置等

受入期間に空白が生じないように、現在の合同納骨塚について、埋蔵可能数増加のための措置を行います。また、令和11年度(2029年度)の供用開始を目指して、市営霊園内へ新たな合葬墓を設置します。

### ■利用条件の見直し

第1次計画において、市民ニーズを踏まえ、「札幌市民として亡くなった方の遺骨」や「事実上婚姻関係と同様の事情にあった方の遺骨」「パートナーシップの宣誓を行った方の遺骨」の受け入れに向け、利用条件の見直しを検討しました。第2次計画においては、詳細な条件等について検討を行い、新制度の運用を開始します。

### ■安定経営に向けた料金体系

新たな合葬墓の設置費用等を踏まえて、安定経営に向けた料金体系を構築します。

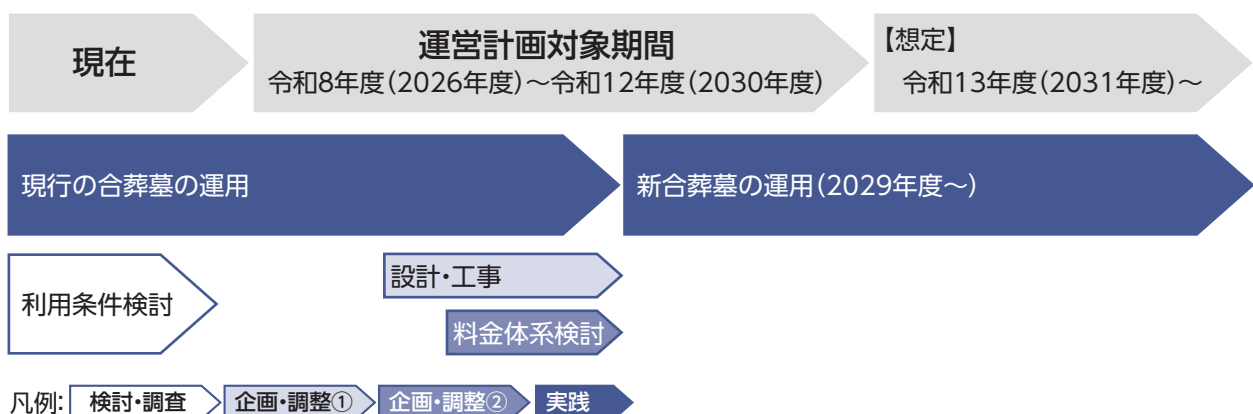
#### 参考指標

新たな合葬墓の運用	
現状(2025年度)	目標値(2030年度)
—	運用

#### 【参考指標達成による寄与】

社会情勢を加味し、「札幌市民のためのお墓」としての一端を担う。

#### スケジュール



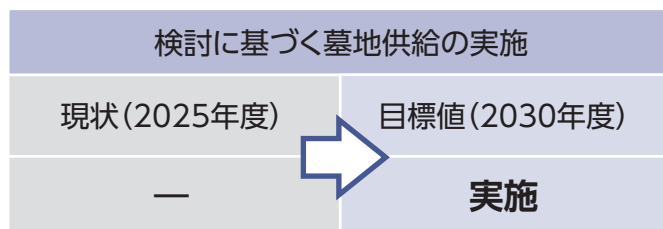
## エ 市営霊園墓地供給(再公募等)のあり方

市民ニーズ等を考慮しながら、市営霊園としての墓地供給(再公募等)のあり方を検討します。

### ■市営霊園の役割

市民ニーズや墓地需要予測を踏まえ民間墓地等を含めた札幌市全体として適切な墓地供給を実現できるよう、市営霊園としての墓地供給(再公募等)のあり方について検討し、その結果を踏まえながら再公募等を実施します。

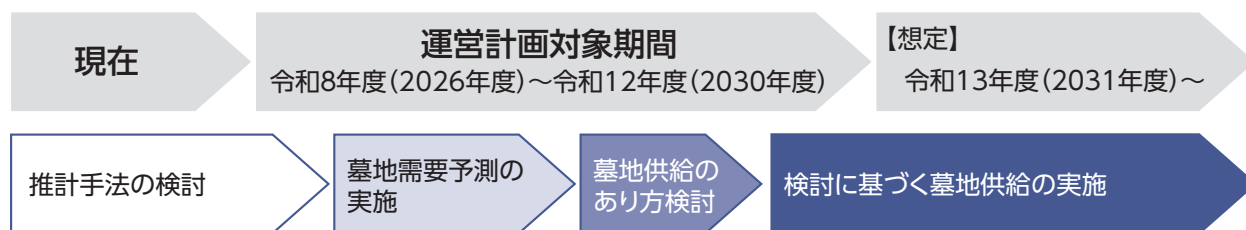
#### 参考指標



#### 【参考指標達成による寄与】

墓地需要予測に基づく墓地供給を実施することで、市営霊園及び民間墓地等の安定経営が実現する。

#### スケジュール



凡例: 検討・調査 → 企画・調整① → 企画・調整② → 実践

# オ 市営霊園及び旧設墓地の無縁墓への対応

市営霊園及び旧設墓地における使用者の戸籍調査を引き続き実施し、無縁墓の解消に努めるとともに、墓じまいの啓発により、無縁墓の発生を予防します。

## ■無縁化が疑われる墓地使用者の戸籍調査継続

無縁化が疑われる墓地について、使用者と連絡が取れない場合は戸籍調査により現住所や縁故者の有無を調べるなど、図 4-3-1 に示すフロー図に沿った確認を継続して行います。

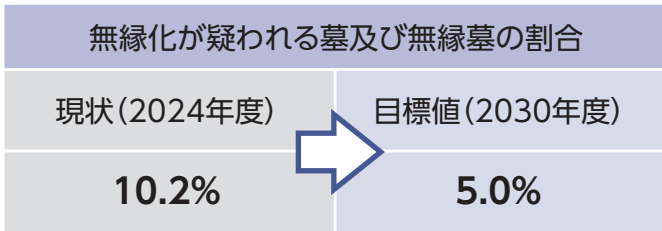
## ■無縁墓の解消手順整理・試行・実施・予防

上記の調査等によって無縁と認定した墓の改葬方法や墓石の撤去手順等を検討・整理し、試行の後、実施していきます。また、手続きに関する通知文の定期送付、市営霊園及び旧設墓地における注意喚起看板の設置、墓じまいの啓発など、新たな無縁墓の発生を予防するための取組を推進します。

## ■無縁改葬実施後の区画について

無縁墓を改葬・撤去した後の区画については、「エ 市営霊園墓地供給(再公募)のあり方」の中で併せて検討していきます。

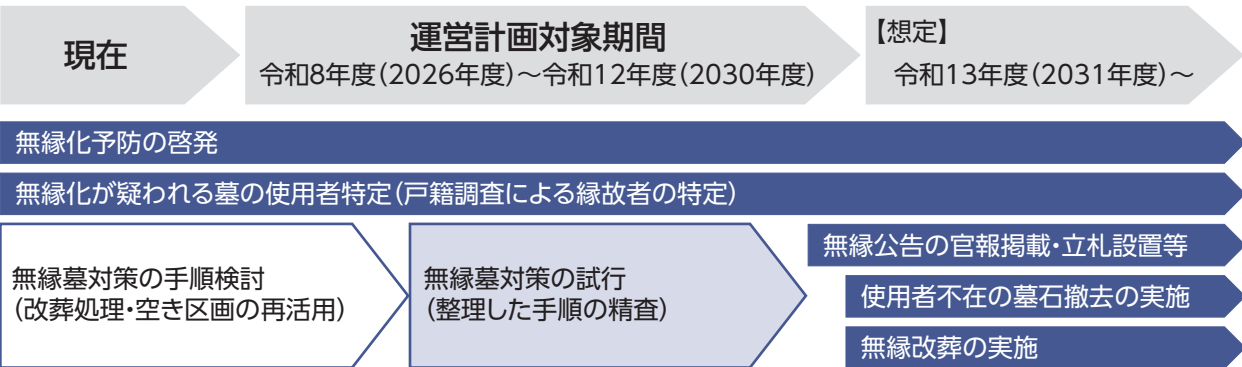
### 成果指標



### 【成果指標達成による将来的な効果】

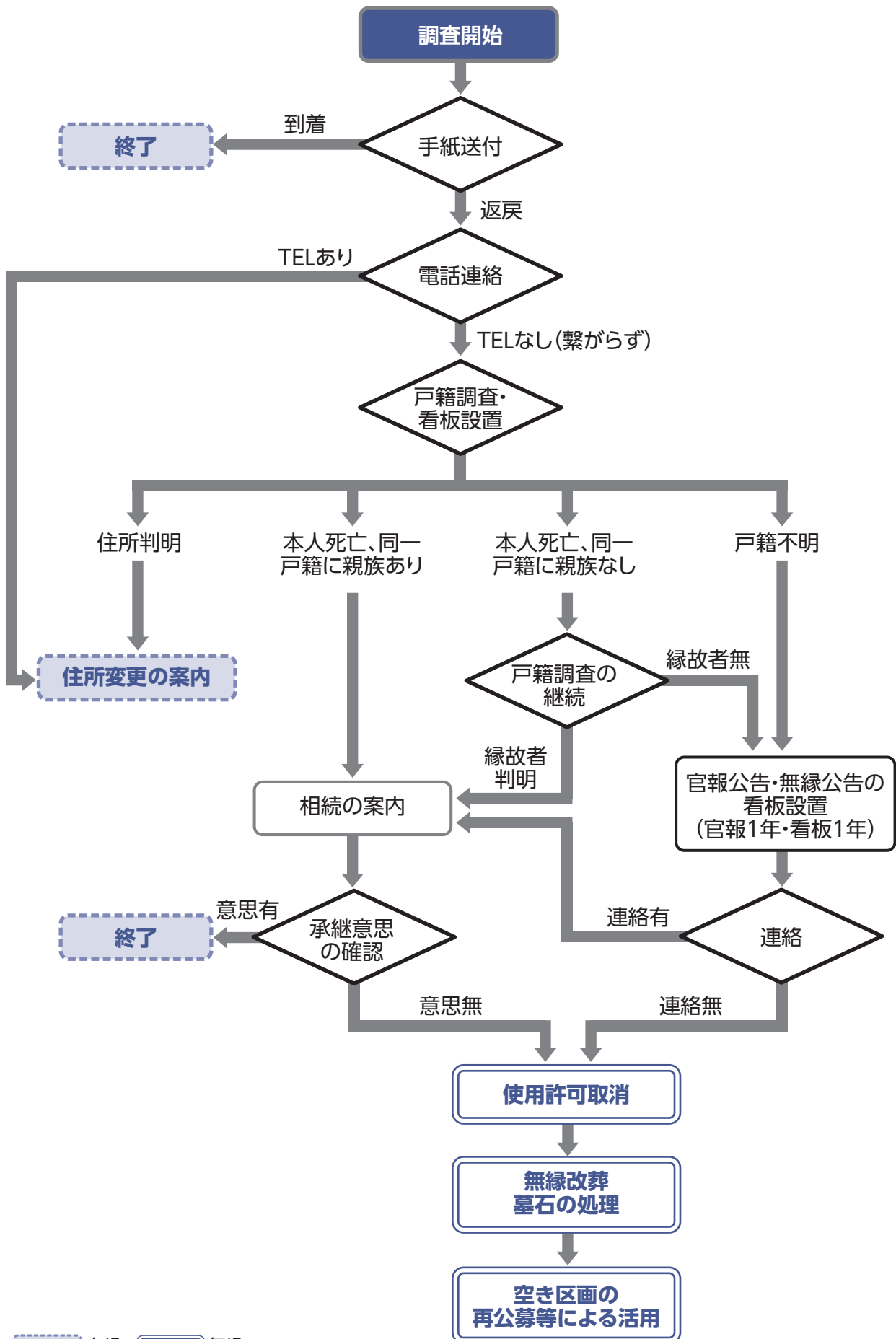
無縁化が疑われる墓の解消による無縁墓跡地の有効活用、無縁墓跡地を含めた施設等の環境改善に繋がる。

### スケジュール



凡例: 検討・調査 → 企画・調整 → 実践

【図 4-3-1 無縁墓認定及び無縁改葬等に係るフロー図】



有縁 無縁

## カ 市営霊園の運営・改修・機能の統廃合

里塚霊園管理事務所について、令和11年度(2029年度)の供用開始を目指して建替を行います。その他の管理事務所についても、利用状況や施設の経年化状況を踏まえた運営及び改修を検討します。

また、他都市の運営手法も踏まえながら、業務改善やサービスアップを目指すとともに、市民がより利用しやすい霊園となるよう、市営霊園の多面的な活用についても模索します。

### ■霊園管理事務所の建替等や霊園内構築物の改修

里塚霊園管理事務所については令和11年度(2029年度)の供用開始を目指して建替を行うとともに、比較的利用頻度の低い手稲平和霊園管理事務所については、建替や統廃合も視野に、あり方を検討します。また、市営霊園利用者の安全確保及び利便性向上のため、バリアフリー化を含む市営霊園の段階的な改修を進めます。

### ■市営霊園の多面的な活用の検討

墓地としてだけでなく、多くの市民が利用できるよう、空き区画等を活用した憩いの空間の創出や景観向上等について検討を進めます。

### ■効率的な維持管理及びサービス向上を目的とした運営手法の検討

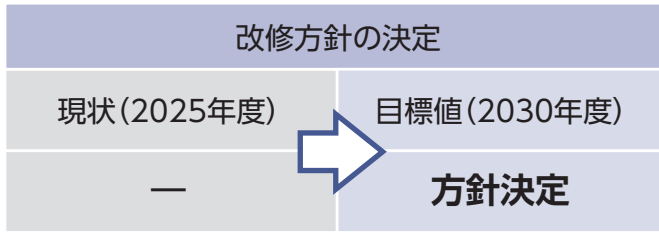
令和元年度(2019年度)に、民間事業者のアイデアの把握、指定管理者制度やPFI等の導入可能性を調査するため「サウンディング型市場調査<sup>12</sup>」を実施しました(表4-3-2)。

令和3年度(2021年度)に行った調査では、大都市公営葬務事業協議会に参加している21都市(札幌市含む)のうち、11都市が市営霊園について指定管理者制度を導入しており、樹木管理等が迅速になり、園内が綺麗になるなどのメリットがあることが分かりました。

今後、霊園ごとの業務量や必要人員を精査したうえで、指定管理者制度及びPFI制度導入による市営霊園の運営について、より具体的に検討を進めます(表4-3-3)。

12 【サウンディング型市場調査】民間事業者から広く意見、提案を求める市場調査で、事業を検討するにあたり民間事業者との対話を通じ、利活用の方向性、市場性の有無に向けたアイデアを得ることで、幅広い検討を可能とするもの。

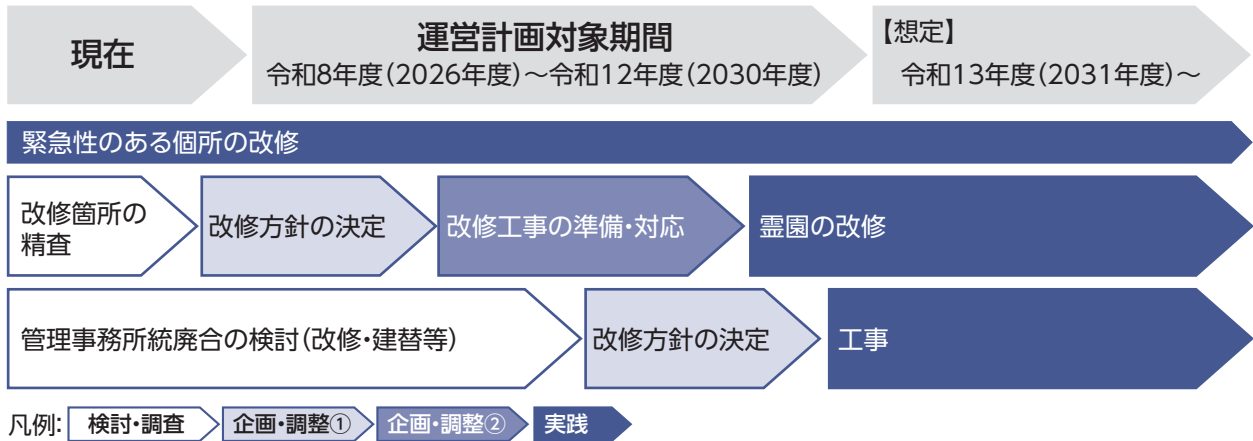
参考指標



【参考指標達成による寄与】

市営霊園の改修により、墓地利用者の安全確保が図られるとともに、利便性が向上する。

スケジュール



【表 4-3-2 サウンディング型市場調査の主な結果について】

	対話の項目	対話の概要
市営霊園の業務・維持管理に関する提案	市営霊園の管理方法について	<ul style="list-style-type: none"> <li>迅速な対応を行うために、市内を複数の地域に分割し、複数の企業で管理体制を構築する。</li> <li>各霊園管理事務所ですべての受付事務を行わず、市内中心部に窓口を設置し、全ての受付事務を行う。</li> <li>地域制を考慮し、北西方面唯一の事務所である手稲平和霊園の管理事務所は必要である。</li> </ul>
参加加入条件に関する提案	指定管理者制度の導入について	<ul style="list-style-type: none"> <li>霊園内で行う自主事業の許可</li> <li>再公募を含む使用料等の指定管理費への充当</li> <li>日常の維持費とは別に、一定の修繕費用の計上</li> </ul>
	PFI制度の導入について	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備費償還のため、最低20年の期間が必要</li> <li>管理事務所の改修等を含めれば対応可能</li> <li>数種の事業(合葬墓の改葬、事務所の整備など)を大規模に含めること。</li> <li>事業規模が小さいと参入が難しい。</li> </ul>

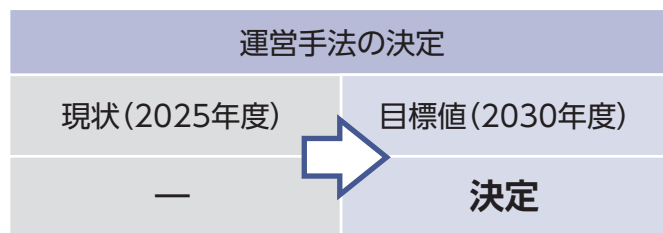
出典:札幌市

【表 4-3-3 指定管理者制度等を導入した際の比較イメージについて】

運営手法	評価			概要
	維持管理業務	人員体制	窓口対応	
市直営	▲	▲	▲	<ul style="list-style-type: none"> <li>維持管理は日数を要する</li> <li>許可証等は即日交付可</li> </ul>
指定管理者制度	○	○	▲	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理事務所分の職員削減</li> <li>許可証等は即日交付可</li> <li>大規模修繕は市で発注</li> </ul>
PFI制度	○	○	▲	<ul style="list-style-type: none"> <li>本庁の一部及び管理事務所分の職員削減</li> <li>指定管理者制度の併用により許可証等は即日交付可</li> <li>大規模修繕を実施可能</li> </ul>

凡例:○優れている ▲現状維持

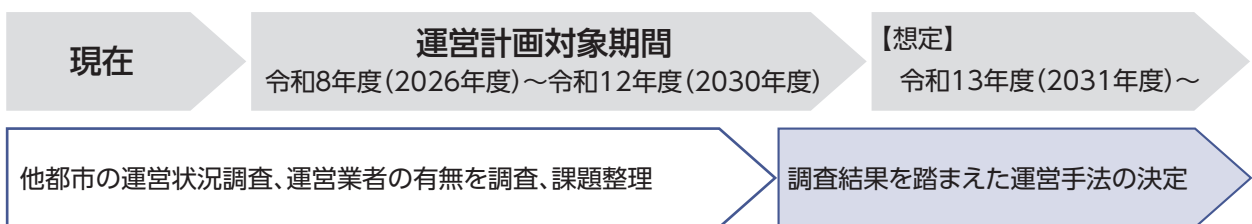
参考指標



【参考指標達成による寄与】

より良い運営手法を導入することにより、墓地利用者の利便性や運営効率の向上が見込める。

スケジュール



凡例: 検討・調査 企画・調整

## キ 旧設墓地の管理方法

安定的な運営を継続するとともに、使用者が特定できていない未許可墓の解消に努めます。

### ■未許可墓の解消

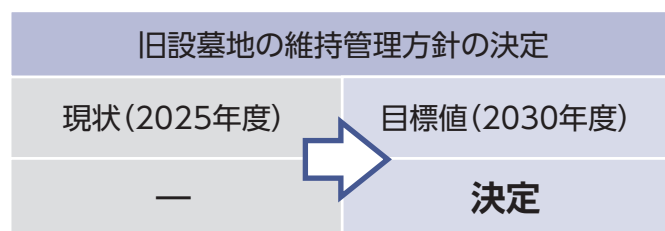
墓参者に対しての案内看板の設置等により、使用者が特定できない未許可墓の解消を図ります。

なお、未許可墓の使用者から申出があった場合は、申請書類の提出を求め、使用許可等の手続きを進めます。

### ■旧設墓地の維持管理方法のあり方検討

安定的な旧設墓地の維持管理を実現するため、市営霊園の管理料導入後の状況も参考に、旧設墓地の維持管理方法や市民利用のあり方について多角的に検討し、方針を決定します。

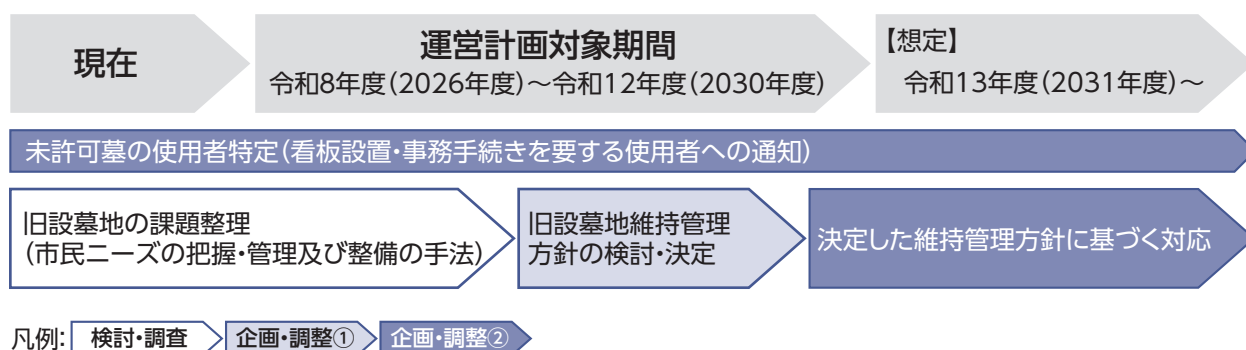
#### 参考指標



#### 【参考指標達成による寄与】

旧設墓地の維持管理方針を決定することで、使用者が安心して利用できる墓地の維持に繋がる。

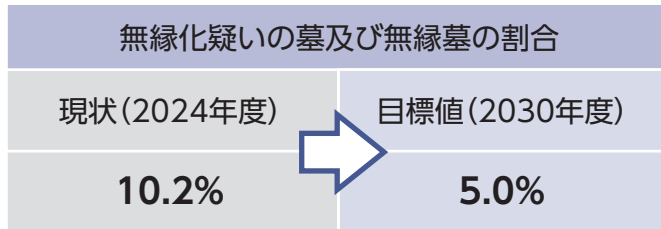
#### スケジュール



### (3) 成果指標及び参考指標

#### 1 成果指標

無縁墓の問題は、近年の墓地行政において重要かつ喫緊の課題となっています。そのため、無縁墓等の割合を減らすことは墓地利用者の利便性向上や安心安全に繋がると考えています。さらには安定的かつ効率的な運営に寄与する種々の将来的な効果も期待できることから、墓地に関する取組の成果指標としました。



#### 〈将来的な効果〉

無縁墓区画の解消による収支改善や無縁墓跡地の有効活用、並びに無縁墓跡地を含めた施設等の環境改善に繋がる。

#### 2 参考指標

項目	参考指標	参考指標達成による寄与
市民ニーズに対応した墓地等供給の推進	墓地需要予測の実施	墓地需要予測の実施により、需要に合わせた墓地供給のあり方の検討が可能になる。
民間墓地・納骨堂に対する指導等	必要な経営状況報告を行っている民間墓地・納骨堂の割合	民間墓地・納骨堂が必要な経営状況報告を行うことで、適切な指導を行うことが可能となり、市民が安心して利用できる民間墓地・納骨堂の維持に繋がる。
新たな市営合葬墓の設置等	新たな合葬墓の運用	社会情勢を加味し、「札幌市民のためのお墓」としての一端を担う。
市営霊園墓地供給(再公募等)のあり方	検討に基づく墓地供給の実施	墓地需要予測に基づく墓地供給を実施することで、市営霊園及び民間墓地等の安定経営が実現する。
市営霊園及び旧設墓地の無縁墓への対応	—	成果指標として設定
市営霊園の運営・改修・機能の統廃合	改修方針の決定	市営霊園の改修により、墓地利用者の安全確保が図られるとともに、利便性が向上する。
	運営手法の決定	より良い運営手法を導入することにより、墓地利用者の利便性や運営効率の向上が見込める。
旧設墓地の管理方法	旧設墓地の維持管理方針の決定	旧設墓地の維持管理方針を決定することで、使用者が安心して利用できる墓地の維持に繋がる。